

# 地域防災、減災態勢の確立

## 町長

### 地域を補完する業務継続計画BCPの精査検討により非常時優先業務の理解に努めていく

**森下** 庁舎内で職員に対し、個々の災害に対する理解がなされているのか、また、災害に対する編成が組まれているのか伺う。

## 町長

町が実施すべき応急、復興、復旧、復興に至る業務を総合的に示す地域防災計画を補完する計画である業務継続計画BCPは、町が災害時に優先的に取り組むべき重要業務を非常時優先業務としてあらかじめ抽出し、制約された人的、物的資源を効率的に投入することによって実効性を確保する計画となっている。



森下 義昭 議員

町業務継続は、全庁あげて策定する必要があるので、非常時優先業務内容を全職員が理解し、たうえで、業務内容の優先度により、分類、追加、削除などをする作業を10月末に各課に依頼、12月上旬から各課の作業報告を精査後、全体版を完成させ、来年1月には各課へ配布し、課全体で非常時優先業務の理解に努める。

## 町長

町業務継続計画において参集想定があり、参集予測の条件として夏季、深夜を想定し、発生1時間後が10%、3時間後が30%、12時間後が50%、24時間後が60%、3日後が70%、1ヶ月後が90%としている。この参集想定のパラメータは、当町におけるデータがないため、阪神淡路大震災の参集状況を参考に準用しているが、当町のような積雪地帯ではないため、当町の冬季の積雪状況を踏まえ、精査した中で参集率を見直して行く。

## 森下

避難所、避難場所における対応策を伺う。

## 町長

災害時になすべき対応業務の具体的項目及び、それに対する行動内容を業務継続計画で説明しているが、職員が避難所等においては具体的な行動を細

防災教育がなされると考える。

## 森下

防災無線機の各家庭の未配布について増設の考えを伺う。

## 町長

俱知安町防災無線設置に関する条例施行規則により決められており、具体的な住所として、郊外地区の住居、町内会や自治会などの会長、副会長、班長などの役員宅に相当する住居、避難所、役場職員住居、自衛隊・警察などの防災関係機関の事務所、高齢者住居、店舗や事務所、学校などの事務所となっており、市街地はすべての住居に設置されていないことから、役場敷地内に大型スピーカーで情報伝達を補完する現状である。

## 町長

現在、地区防の手引き及び俱知安防災計画のひな型を策定中で、今月中に完成させ、30年1月を目途に全町内会へ策定依頼する予定となっております。

## 森下

地域における防災教育はどのように対策を立てるのか伺います。

## 森下

防災資機材、非常食、非常用品等の集中格納の考えを伺う。

## 町長

現在、防災計画の策定中であるが、計画の中では食糧及び生活必需品については、保存期間の管理や衛生管理、防災資機材の管理を集中的に行うため、総務課を主担当とし、食糧及び飲料は主として役場分庁舎、防災資機材は主として旧東陵中学校に保管している状況である。今後は、食糧、飲料、生活必需品、防災資機材を平成30年度から4年間で備蓄していく計画案であるが、主たる保管場所として、分庁舎を検討していきたい。

また、様々な場所にいることも想像されるので、屋外スピーカー、消防の広報車、緊急メール、テレビ、ラジオ、町ホームページ等で伝達することとしている。全ての家庭に受信機設置が町民に

一般質問 森下 義昭

災害が発生し、平時と休祝日における態勢完了の目安時間と要領について伺う。

## 森下

災害が発生し、平時と休祝日における態勢完了の目安時間と要領について伺う。